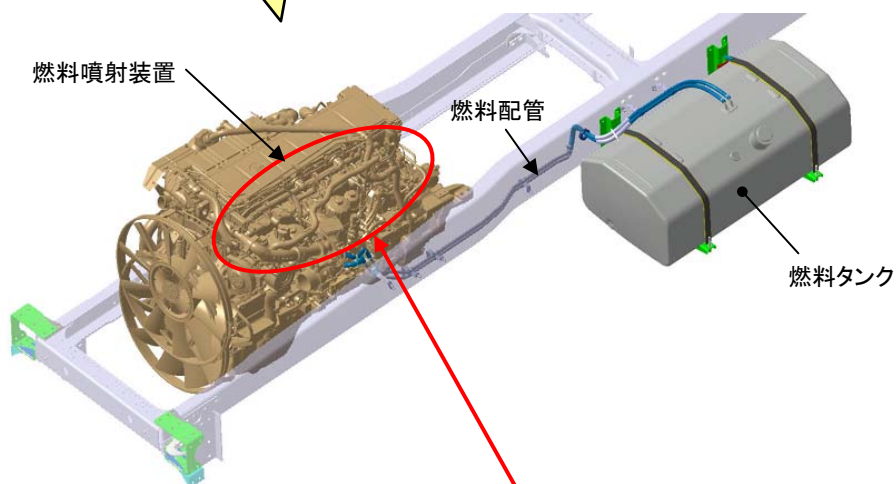


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

大型トラック・バスにおいて、燃料ホースから溶け出した亜鉛が軽油中の成分と反応して生成された化合物によって燃料噴射装置の内部バルブが固着する可能性がある。そのため、エンジンの異音、白煙の発生、エンジン制御システム異常の警告灯点灯、マフラー内に溜まった燃料の発火などが生じ、最悪の場合、エンジンの始動不良や吹け上がり等に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料タンクに洗浄剤を注入し、燃料ラインに付着・残存している化合物を除去するとともに、燃料噴射装置の内部バルブ固着を抑制する機能を追加したエンジンECUのプログラムに書き換える。

識別：作業完了車には、所定の位置に「HD177」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラーストライカー付近

バス：車両左後方点検リッド裏